



スピードダイヤルと短縮ダイヤル

- [スピードダイヤルと短縮ダイヤルの概要, 1 ページ](#)
- [スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定タスクフロー, 2 ページ](#)

スピードダイヤルと短縮ダイヤルの概要

管理者は、ユーザに対して短縮ダイヤル ボタンを表示する場合、または特定のユーザが割り当てられていない電話を設定する場合に、電話の短縮ダイヤル番号を設定できます。ユーザは Cisco Unified Communications セルフケア ポータルで各自の電話の短縮ダイヤル ボタンを変更できます。短縮ダイヤル エントリを設定すると、一部の短縮ダイヤル エントリが IP フォンの短縮ダイヤル ボタンに割り当てられ、その他の短縮ダイヤル エントリが固定短縮ダイヤルに使用されます。ユーザが番号のダイヤルを開始すると、[短縮 (AbbrDial)] ソフトキーが表示されます。ユーザは、固定短縮ダイヤルの適切なインデックス (コード) を入力することで、任意の短縮ダイヤル エントリにアクセスできます。

電話の短縮ダイヤル設定は電話の物理ボタンに関連付けられていますが、固定短縮ダイヤル設定は電話のボタンには関連付けられていません。

スピードダイヤルの一時停止

短縮ダイヤルを使用すると、強制承認コード (FAC)、クライアント識別コード (CMC)、ダイヤル中のポーズ、または付加的なディジット (ユーザ内線、会議のアクセスコード、ボイスメールのパスワードなど) を必要とする接続先にダイヤルできます。設定済みの短縮ダイヤルを押すと、電話機は接続先番号とのコールを確立し、ダイヤル中のポーズを入れて、指定された FAC、CMC、および付加的なディジットを送信します。

ダイヤル中のポーズを短縮ダイヤルに含めるには、短縮ダイヤル文字列の一部としてカンマ (,) を含めます。カンマは、ポスト接続 DTMF 番号の一時停止期間として機能するほか、接続先アドレスと FAC コードまたは CMC コード間のデリミタとしても機能します。文字列に含める各カンマは、追加の 2 秒間のポーズを表します。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。このポーズは、短縮ダイヤル文字列の中の他のディジットと、FAC および CMC を区別するためにも使用できます。

スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	電話機能一覧の生成	スピードダイヤル機能と短縮ダイヤル機能をサポートするデバイスを特定するためのレポートを作成します。
ステップ 2	スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定, (2 ページ)	スピードダイヤル番号と短縮ダイヤル番号を設定します。

スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定

全部で 199 のスピードダイヤルおよび短縮ダイヤルを設定できます。電話機の物理的なボタンにスピードダイヤルを設定します。短縮ダイヤルでアクセスするスピードダイヤル番号の短縮ダイヤルを設定します。同じウィンドウでスピードダイヤルエントリと短縮ダイヤルインデックスを設定できます。

FAC や CMC と同様に、ポスト接続 DTMF のディジットをスピードダイヤルに含めて設定できます。

スピードダイヤルと短縮ダイヤルを設定するには、次の手順を実行します。



(注) すべての Cisco IP Phone で短縮ダイヤルをサポートしているわけではありません。詳細については、電話のユーザガイドを参照してください。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。スピードダイヤルボタンを設定する電話を選択します。
- [電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、ウィンドウ上部の関連リンクのドロップダウンリストから [スピードダイヤルの追加/更新 (Add/Update Speed Dials)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。

[スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定 (Speed Dial and Abbreviated Dial Configuration)] ウィンドウが電話機に表示されます。

ステップ 3 [番号 (Number)] フィールドに、ユーザがスピードダイヤルボタンまたは短縮ダイヤルの短縮ダイヤル インデックスを押すときにダイヤルされる番号を入力します。0～9の数字、*、#、および+ (国際エスケープ文字) を入力できます。スピードダイヤルにポーズを含めるには、DTMFのディジットを送信する前にデリミタとしてカンマ (,) を入力できます。文字列に含める各カンマは、追加の2秒間のポーズを表します。たとえば、2個のカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。このポーズは、スピードダイヤル文字列の中の他の数字と、FACおよびCMCを区別するためにも使用できます。

(注) スピードダイヤル文字列にFACおよびCMCを含めるとき、次の要件が満たされていることを確認してください。

- スピードダイヤル文字列では、FACが常にCMCよりも前に来る必要があります。
- FACおよびDTMFのディジットを含むスピードダイヤルには、スピードダイヤルラベルが必要です。
- 文字列内のFACおよびCMCのディジット間に入力できるカンマは1つだけです。

ステップ 4 [ラベル (Label)] フィールドで、スピードダイヤルボタンまたは短縮ダイヤル番号に対して表示するテキストを入力します。

(注) このフィールドは、どの電話でも使用できるわけではありません。このフィールドがCisco Unified IP Phoneで使用可能かどうかを判断するには、使用している電話機モデルのユーザ マニュアルを参照してください。

ステップ 5 (オプション) スピードダイヤルにポーズを設定する場合、FAC、CMC、およびDTMFのディジットが電話画面に表示されないようにラベルを追加する必要があります。

